



# Obihiro Rotary Club

## District 2500 Rotary International

No. 2862

### 第3180回例会

平成21年10月28日

2009-10年度 国際ロータリーのテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS  
(ロータリーの未来はあなたの手の中に)

方針

# 修練

会長 清水 茂彰

## ■プログラム

「ロータリアンとして51年を振り返り」

パストガバナー 田中 弘 会員



本日は「ロータリアンとして51年を振り返り」ということで時間を頂きました。

会員になったのは1958年11月で来月には満51年になります。

こちらの“額”をご覧ください。私の過去50年間のロータリアンとしての「バッジ・エンブレム」を収録したものです。コピーを各テーブルにおいてあります。

暦代国際ロータリー会長の年度毎のテーマを表したエンブレムを並べました。

1991～92年は、私のガバナー就任の年度で、RI会長はラジェンドラー・K・サブーでテーマは [Look Beyond Yourself] “自分を越えた眼を”と訳され、哲学的というか大変難解のものでした。

昨年の11月にも卓話にて「クラブ在籍50年として、当クラブ50年前のこと戦後再開後のこと」等お話しましたが、今回は重複を避けて、最近の国際ロータリーの状況についてお話しします。

前回のシカゴ規定審議会で、第1号の立法案にて定款を改正し（クラブ例会を毎週または月に2回とする）案が採択され、国際ロータリーでは「2007年から2013年まで試験的プログラムとして実施し、例会回数の頻度、回数がロータリー活動に与える影響についての情報を収集するよう助言する」と発表され、2013年RI理事会にて最終決議をする。但し現在はこの試験的プロジェクトに参加しているクラブ以外は勝手に例会回数を変えることは出来ない。

皆さん、如何に思われますか。「ヤ！月2回 それはよい」と思われる方も居られるでしょう。だが私は考

えてみました。

ロータリーは、1905年創立の原点以来、地域で良識ある実業人・専門職務従事の会員が毎週の例会に出席し親睦交流を通して切磋琢磨し、そこに醸成されるエネルギーをもって社会のため、人々のため貢献しようとする社交クラブであります。

会員はロータリーの理念を学び、職業奉仕活動を第一にし他共存の人生哲学と心がけています。

そのためにも毎週一回の例会は重要な意義を持っています。

次に、別の立法案件では会員資格条件の変更が採択されました。

「地域でボランティア活動に参加しリーダーを務めている者およびロータリー財団学友にはロータリークラブの正会員の資格を与える」となりました。

これはクラブ会員への資格条件の緩和ですが、ロータリーの根本的規約の一業種一会員制は完全に無くなります。

更に「決議23-34」ですが、昨年ロータリー章典から削除されました。

これは、国際ロータリーの目的・ロータリークラブとの関係、或いは奉仕活動について明確にした決議文であり、特に日本ロータリーでは重要視してきたものです。

「決議23-34」がなくなると、これからのロータリーの進路はどうなるのでしょうか。

まだ他にも標準ロータリークラブ定款・規約を改正しようとする案がありますが、国際ロータリーの最近のロータリーの組織・運営、更には原理・原則を改変しようとしている姿勢はロータリークラブ活動にすくなく影響を与えているのではなからうか。

国際ロータリーは世界のロータリークラブの連合組織体・管理体が本来の使命から逸脱し、個々のロータリークラブの現状を省みず、コミュニケーションの不足からロータリークラブではロータリーの理念探求への意欲は薄れ、クラブの活力や魅力も減少し、会員の例会出席の意欲も盛り上がりせず、これらは会員減少の一因となっているものと思われる。

更に、ここ数年の著しい会員数の減少に注目してみ

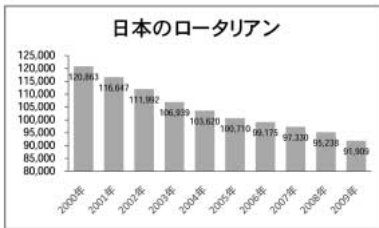
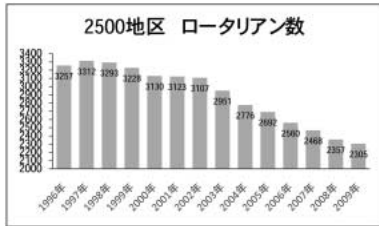
ると、日本のロータリーはこの10数年減少が顕著であり、また2500地区ではこの6月末2305名となり、ピーク時から30%の減少である。

この理由はひとつにはロータリークラブを取り巻く社会環境として先年来のアメリカに端を発した金融恐慌から経済不況は深刻となり、ロータリーに影響していることは在るであろう。

然しもっと大事なことは国際ロータリーのロータリークラブへの指導力が弱まり、クラブ自体の活力が低迷し、従って会員一人ひとりのクラブ活動への情熱・関心が薄れ、参加意識の減退へとなっているであろう。

今こそ最も重要なことはクラブ会員としての自覚とロータリーへの研鑽である。一人ひとりがロータリアンとしての誇りと共に使命感を持ちクラブ活動に積極的に参加し協力することである。

会員一人ひとりの情熱がクラブの活力になり、クラブ例会出席への魅力となりクラブ活性化に繋げてゆく。そうしてこそ会員増強も促進されて行くものと思考する。



■会長報告

清水 茂彰 会長



皆さんこんにちは。季節の変わり目というよりは、いきなり冬になりそうな今日この頃ですが、皆さんは健康に留意されていることと思います。

歴史と伝統を重んじながらも脈々と続いている帯広ロータリークラブであります。

本日の例会には「田中弘パストガバナー」の51年の歴史を語って頂きますので、その中で「チンプレ」もあるかも知れませんが楽しみにしています。

会員の義務について少し話しを致します。

ロータリーはまず「例会の出席から」と言われています。

会員身分の終結は半期間においてメーキャップを含む出席率50%、ホームクラブ出席30%に達していない場合でクラブ理事会が理由が正当と認めない場合、会員の身分が終わってしまいます。

又、「会費の納入」「ロータリー雑誌の購読」といったものも義務とされています。

米山奨学会への寄付金について、10月14日付で皆様をお願い文書が行っていると思います。その中で累計金額が記入されていると思いますが、後いくらかで、いくらになると考えて私も寄付させて頂きました、1952年に米山梅吉翁の逝去にあたり、その偉業を記念した米山記念奨学事業は現在まで続けられていますし、東南アジアの留学生を応援するものとして国際交流して考えた場合にも大変有意義であろうと考えます。ぜひ応援していただきたいと思います。以上、会長報告とさせていただきます。

■会務報告

渡辺喜代美 幹事

(1)帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 平成21年10月29日(木) 午後6時30分  
場所 北海道ホテル

(2)帯広北RC、10月30日(金)の例会は休会と致します。

(3)帯広東RC、11月3日(火)は祝日の為休会と致します。

(4)帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日時 11月16日(月) 午後6時30分  
場所 北海道ホテル

(5)ガバナー・エレクト事務所

〒080-0847帯広市公園東町1丁目3-9  
TEL 0155-67-4757 FAX 0155-67-4758  
Eメール rid2500@ia4.itkeeper.ne.jp  
業務時間 9:00~17:00(土・日・祭日を除く)

・出席報告

木村 卓洋 出席委員

10月28日例会 会員総数97名(内免除会員9名)  
出席者数55名

10月14日例会のメーキャップを含む出席者数及び出席率 71名80.6%

・ニコニコ献金

河合 博 親睦活動委員

吉野 信司 会員

10月31日・11月1日で「ばん馬まつり」が開催されます。NTTも「子供縁日」で協力していますのでぜひ来てください。

山本 博 会員

10月24日初孫が誕生しました。男の子です。お陰様で母子ともに元気です。

■誕生祝

長沢 秀行 会員

■次週プログラム予定

11月4日「報告 退会防止・会員増強とは」

(プログラム委員会)



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。



例会日/水曜日 12:30~13:30 例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820 ●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報 ●委員長/佐藤 真康・倉野 賢・島田 哲男・進藤 敦史・園尾 真一  
竹川 博之・梅安 雅満・蔦井 秀則・中島 一晃・新田 潔

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.co.jp